

令和4年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



12月号

皆さんは全盲者が使用している支援機器をご存知ですか？今回も漫画『ヤンキー君と白杖ガール』（著者：うおやま）から紹介していきたいと思います。

全盲者が使用する支援機器について

今回は学習で使用する支援機器について具体的に紹介していきます。



① 点字盤

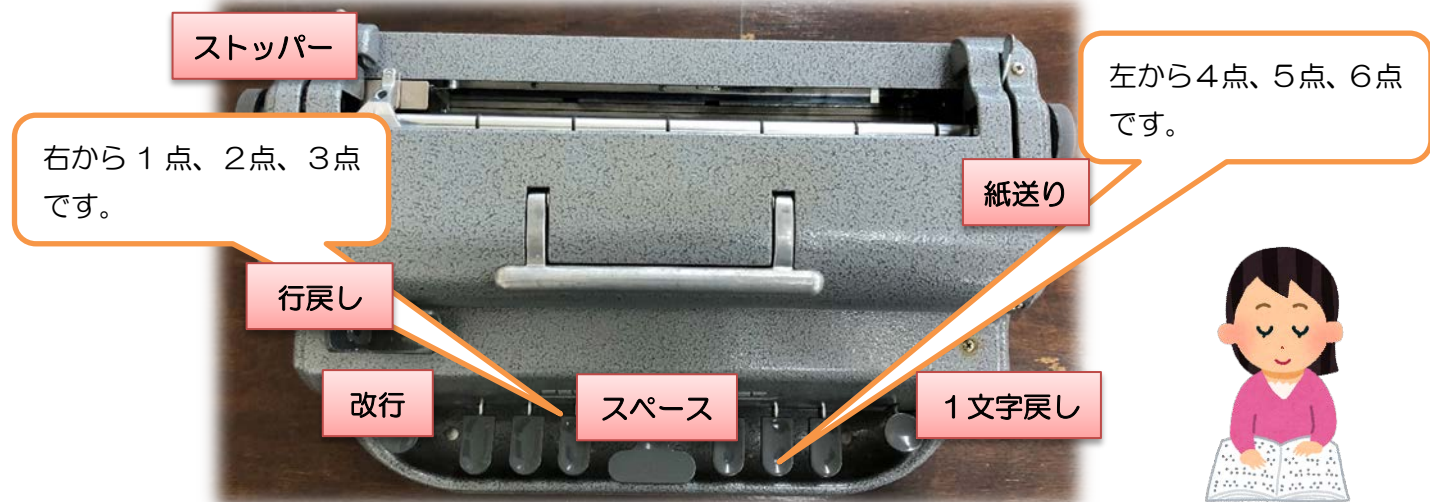
点字を打つための道具で、点字使用者にとってのノートにあたります。軽いので持ち運びに便利です。使い方は、点字盤に点字用紙をセットして点字定規で挟み、右から左に点筆で点を打っていきます。



漫画の中でユキコの友だちの全盲の青野くんは、先生の話聞きながら、点字盤を使って熱心にメモをとっていました。携帯しやすい点字盤は全盲者の学習にとってなくてはならないものだということがわかります。

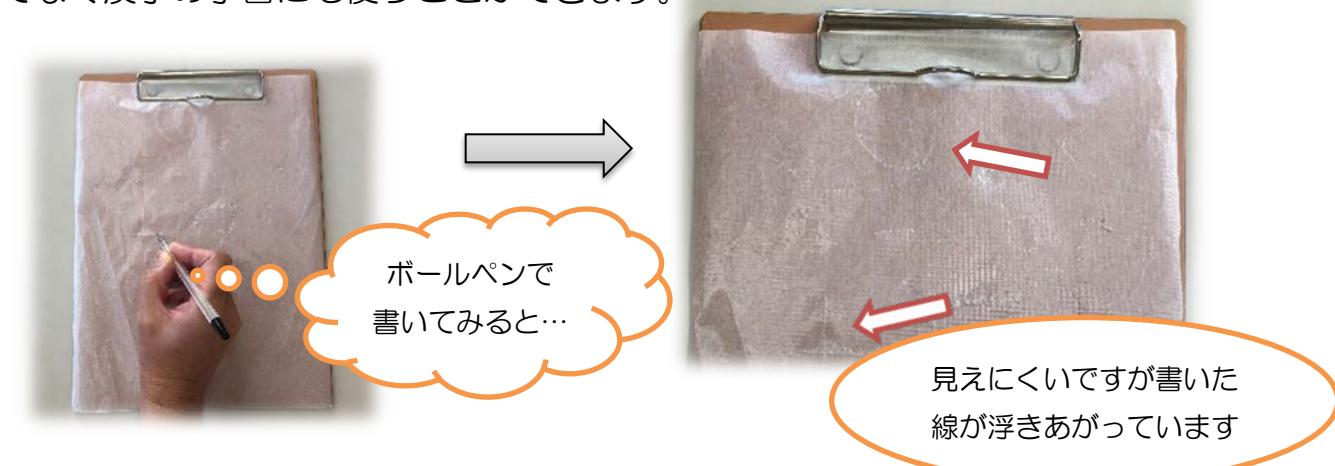
②点字タイプライター（パーキンスプレーヤー）

点字を打つためのタイプライターです。6つの点に応じたキーを押すことによって点字を打っていくことができます。点字盤に比べて速く打てることや、凸の読める状態で打ち出すので点字を確認できるなどのメリットがあります。



③レーズライター（表面作図器）

全盲者が図を手書きできる用具です。バインダーと作りは同じですが、プラスチック板の上に薄いゴムを張り付けています。使用する際は、作図用紙の表面にインク無しのボールペンで図形などを書くと線が浮き上がります。また、作図だけでなく漢字の学習にも使うことができます。



④ブレイルメモ

メモと読書のツールです。点字文書とテキスト文書の作成ができます。また、文書データの内容が点字で表示され、多くのデータをコンパクトに持ち運ぶことができます。読み上げ機能もあり、デイジー等特定の形式の音声ファイルの再生ができます。USBにつないだり、パソコンのディスプレイにつないだりすることもできます。

